

編 集 後 記

この5年間、名木の由来を聞いたり記録写真を撮影したり、多くの調査をしてきて、「長い年月に渡り風雨等に耐えてきた『西尾の名木』は、市民の皆さんの愛情を持って守り、育ててこられたから今日があるのだ。」ということ強く感じました。

ここに調査中に知った逸話を紹介することで、市民の皆さん一人一人に名木の貴重さを熟知していただくと同時に緑の保護活動を一層盛り上げて頂くことを期待いたします。

～ 名木や災害免れ今日がある ～

小島町の個人邸宅の裏庭に太さ、枝ぶりのすばらしい樹齢100年以上の「大ケヤキ」があります。古老が「このケヤキは母屋普請の際に伐採される危機に遭遇したが、この家の長老が伐採することを止めたことで今日がある。」と話されたことに深く感銘しました。

今回選定した神社、仏閣、個人邸をはじめとする名木は、すべてこのような歴史があると推定されます。

～ 名木も災害等で姿消し ～

僅かこの5年間の調査期間中に名木の姿が消え残念に思ったことが度々ありました。台風などの自然災害によって折れたり傷んだりしたものもありましたが、所有者の事情により伐採されたものもありました。長年かけて生育してきた古樹ですから人的な伐採は出来るだけ避け、緑を残して貰うことを願って止みません。

～ 市民の宝 全市に広がる名木かな ～

全市をまんべんなく調査し、特に優れた樹、希少価値のある樹、歴史的にいわれのある樹等を比較検討し掲載しました。しかし、地域の開発状況の違いもあり、名木の存在する地域に多少片寄りが見られます。今回選定したもの以外にも名木の存在する可能性はあります。今後、更に調査して追加することを検討いただきたいと思います。

なお、本書をご覧いただいた方で身近に名木あるいは名木の候補がありましたら、是非、大切にしていいただきたいと思います。そして、より一層名木を中心とした緑豊かなまちづくりが推進されることを願います。

終わりに、この企画にあたり、折に触れご指導、ご助言を戴いた岡田速先生を始め、名木の選定にご協力いただいた皆様のご援助に対して心よりお礼を申し上げます。

平成23年3月

西尾市名木選定委員会 編集委員会